

『蚊相撲』



狂言公演

野村萬齋

『首引』



2021

7/11 (日) 13:15開場
14:00開演

メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)
演劇ホール

本事業は、新型コロナウイルス感染拡大の防止策、感染リスクの低減策を実施いたします。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

チケット料金 ※()内はくれっしえんど倶楽部会員価格

全席指定
S席 5,000円(4,500円)
A席 4,000円(3,600円)
U25割 各席種半額 ※鑑賞時25歳以下

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
※車椅子席・介助席はメディキット県民文化センターチケットセンターのみでの取り扱いとなります。
※当日券が出る場合は500円増し(ただしU25割を除く)。販売は当日の午前10時から窓口・電話で行います。
※U25割は、年齢の確認ができる身分証の提示をお願いする場合があります。
※割引サービスの詳細は劇場HPをご覧ください。
※本公演は、利用可能な座席数を一部制限して開催いたします。

【主催】 宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

【チケット発売】

くれっしえんど倶楽部会員:5月2日(日)
一般:5月9日(日)

【チケット取扱い】

・メディキット県民文化センターチケットセンター

TEL:0985-28-7766

【窓口・電話】午前10時～午後6時30分

(月曜休館/月曜が祝日の場合は翌平日休館)

【WEB】劇場HPで24時間座席を指定して予約・購入できます。

・チケットぴあ(webサイトのみ取扱い)



野村萬齋 狂言公演

解説 高野 和憲

狂言

蚊相撲

大名 深田 博治

太郎冠者 内藤 連
蚊の精 中村 修一
後見 石田 淡朗

休憩15分

狂言

首引

親鬼 野村 萬齋

鎮西八郎為朝 野村 太一郎
姫鬼 野村 裕基
眷属 月崎 晴夫
眷属 高野 和憲
眷属 石田 淡朗
眷属 飯田 豪
眷属 岡 聡史
後見 中村 修一

あらすじ 蚊相撲

大名が新しい召使を抱えようと、太郎冠者に探しに行かせる。そこへ、都に上り人の血を吸うため、人間の姿になった江州守山の蚊の精が通りかかり、正体に気づかない太郎冠者は蚊の精を連れ帰る。新しい召使は相撲が得意と聞き、喜んだ大名は早速取らせて見たいと思うが、相手がいないのでやむなく自身で相手をすると、蚊に刺されて目を回してしまふ。蚊の正体に気づいた大名は、勝つためにあるものを持ち出すのだが…。

人間である大名と蚊の精が相撲をとるといふ、何とも奇想天外な作品です。大らかな大名と、蚊の特徴がデフォルメされた蚊の精の動きにご注目下さい。

首引

播磨の印南野を通りかかった鎮西八郎為朝の前に鬼が現れる。娘の姫鬼に人の食い初めをさせたいという鬼に、為朝は、姫と勝負して負けたら食われようと提案する。親鬼は恥ずかしがる姫を説得して腕押し・すね押しをさせるが、豪傑無双の為朝にはかなわない。苦戦する我が子に気がでない親鬼は、ある策を思いつき…。

源為朝は源頼朝や義経の叔父にあたり、保元の乱の活躍で高名な武将です。豪胆な英雄に対し、可憐な姫鬼を華麗かつ懸命に応援する親鬼。人以上に子煩悩な鬼の姿に、思わず顔がほころびます。さて、この勝負の行方は？

野村 萬齋 のむらまんざい



1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。3歳で初舞台。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言」による乃座・主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加。普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台「敦」山月記 名人伝「国盗人」宇平線の配役など古典の技法を駆使した作品の演出。NHK「ほんごであそぼ」に出演するなど幅広く活躍。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通じ狂言の在り方を問うている。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞 優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞、千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞等を受賞。世田谷パブリックシアター芸術監督。石川県立音楽堂邦楽監督。東京藝術大学客員教授。

深田 博治 ふかたひろはる
1967年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽二役第四期研修修了。重要無形文化財総合指定保持者。万作一門の研鑽会「狂言ざんげ」同人。すでに「奈須与市語」「番叟」「釣狐」等を披露。「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンターをはじめ、全国各地での狂言講座、ワークショップで講師を務め、狂言の普及に力を注いでいる。出身地大分で「狂言やとな会」を主宰している。

高野 和憲 たかのかずのり

1972年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽二役第四期研修修了。重要無形文化財総合指定保持者。万作一門の研鑽会「狂言ざんげ」同人。すでに「奈須与市語」「番叟」「釣狐」等を披露。「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター・新国立劇場演劇研究所をはじめ、全国各地での狂言講座、ワークショップで講師を務め、狂言の普及に力を注いでいる。新潟県柏崎市でも狂言教室を持ち、指導に当たっている。

交通・託児のご案内



- 宮崎交通バス(橋通方面から)
 - ①「文化公園」行き 終点「文化公園」下車→徒歩1分
 - ②「宮崎神宮」行き 終点「宮崎神宮」下車→徒歩5分
 - ③「国富・綾」[平和ヶ丘]または「古賀総合病院」行き「文化公園前」下車→徒歩1分
 - ④「平和台」行き「霧島3丁目」下車→徒歩4分
- メディキット県民文化センターには専用駐車場はありません。お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

- JR日豊本線
 - ・「宮崎駅」から:タクシー約10分 ・「宮崎神宮駅」から:タクシー約5分・徒歩約20分
- 高速道路
 - ・宮崎自動車道「宮崎IC」から国道220号を「延岡・宮崎」方面へ車で約20分
 - ・東九州自動車道「宮崎西IC」から国道10号を「宮崎市内」方面へ車で約15分
- 宮崎空港
 - ・タクシー約30分 ・バス(宮崎市街方面行き「橋通3丁目」乗り換え)約40分
- その他(延岡方面から)
 - ・車で国道10号線を宮崎神宮・平和台方面に向かって南下

託児サービスについて 【対象:生後6か月～12歳まで】

本公演では託児サービスをご利用いただけます(料金:お子様ひとりにつき1,000円(税込))。申込みは、公演日の1週間前までとなります。なお、キャンセルされる場合は公演日の3日前までにご連絡ください。

申込先 **NPO法人みやざき子ども文化センター** TEL.080-4694-8686

受付 月～金/10:00～18:00 (土・日・祝日休み)